



首都高1号線と環状線をつなぐ12号線は、'93年夏に開通。これでオレ達にとって首都高に4つ目の環状線ができることになる(首都高12号-環状-中央環状-首都高6号-首都高1号-首都高12号)。

92年は、まさに走り屋にとって、サーキット時代の幕開け。規制の厳しいストリートよりはるかに安全に、しかも金銭で走れるという意味で、脚光を浴びたのは当然だ。

が、やっぱり、オレ達のホームグラウンドはストリート。仲間とのツーリング、あるいは通勤の途中でちょっとドリドリ、なんてバフオーマンスを気軽に決められるのは、やはり、あくまでもストリート、なのだ。

が、最近では、実際の走り場まりのみならず、新しい走りのメッカとなりそうなポイントにK察が先回りし、急カーブ手前や長いストレートに「これでもか」というほど段差をつけたり、ガードレールで一台がやっと通れるくらいに道幅を狭めたり、という、いわゆる「暴走を未然に

トレンドCHECK 8

走りの新ステージの巻

ここと思えば、またあちら、
日替わりステージ&
神出鬼没作戦で、
キミも幻の走り屋を気取れ!



走りの名所になりかねない、常にこの有り様。

かつてのゼロヨンメッカ、13号地から通じる道路は走りやすいようだ。



活版の編組部心は、突貫工事の真っ最中。走りのメッカになりそうな気もするが、いまはまだ、まともな道路は1本もできていない。

オレにもいわせろ!

一発必中
'93チューン直前予想
トライアルの場合
by
マッキー牧原

(0722-54-7039)

良い子仕様がなくなるハズで、そのストレスの発散のさせ方から、トレンドが生まれてくるやろな!

とにかく、合法チューニングが主流になるのは間違いない。でも、次第にそのストレスが溜まって、また、いずれはハードチューニング指向に戻るやろな。でも



それ、それに対抗するには、一カ所にこだわらず走り場をいくつか開拓し、毎回、ステージを変えることだ。さしものK察だって万年人手不足。一度に何か所もの取り締まりなんてできやしない。「ここと思えばまたあちら」と毎回、移動し、分散すれば、K察もトホッとなるんだ。

まっ、確かに、地方ならともかく、大都市ではそうめつたやたらと走り場所があるわけじゃない。特に臨海地帯なんて

それは、まだまだ元の話。93年はとりあえず、なんらかの形で、そのストレスを発散させるチューニングが流行ると思う。たとえば、ボディのカラーリングやエアロとかね。それも、いままではタブー視されてた紫っぽい色やド派手なリヤスポといった、自分の個性を思いっきり主張できるようなもの。ハードな部分のチューニングが、いつてみれば中途半端なから、ソフトな部分で「ドカン」といったれ!というわけや。

ただ、ウチは、合法、非合法にとらわれず、ホントにいいものをユーザーに提供するというコンセプトでやっていくつもり。そのために、これからスタッフ全員の「本物を見極める目」をさらに鍛え上げていくから、楽しみにしててや!

正体不明。誰もまだハッキリ見たことはなく、クルマも何だかわからない。でも、めちゃくちゃ速い。暗にしろホントにしろ、そんな幻の走り屋が、いつか現れる……かも!

「神は信じる者のそばにいる」

★銀座のハバのお言葉



たくさんありそうだけど、実はことごとく事前対策済というのが実情だからね。でも、例えば、幕張にしても、メインはメッセの裏だが、バトカーが来るとみんなもうちょっと船橋よりのストレートや旧ステージの京葉線側に移動したりしているというのも事実。いつてみれば、オモテ幕張とウラ幕張があるわけだ。近場で移動しても効果ないんじゃないの?と思うだろうが、融通の効かないK察にしてみれば、それでもけっこう、困ったりするハズ。コイツを広範囲でや

れば、もうお手上げなんじゃないかな。さらに、だ、情報をめつたやたらと外にもらさないという心がけも肝心。逆にニセ情報を流して敵を混乱するって手もある。ギャラリイは減るかもしれないが、それが自分達のステージを守ることになるんだから、そこは割り切るべし。

とにかく、オモテとウラをうまく使い分け、さらに、ひとりひとりが幻の走り屋に徹すれば、自ずと道は開けるハズ。そのうち、以前、OPTが巻き起こしたシンデレラブームのように、幻のスーパー走り屋伝説なんか生まれたりして、けっこう、面白くなるかもしれないゾ!

